

低コストになったから
もっと気軽にプリントを楽しめる



齋藤巧一郎も
ナットク



写真・齋藤巧一郎
扉写真・HARUKI 取材・神 信康

エプソン Colorio V-edition EP-10VAではじめる カンタン作品プリント

多機能で作品作りに優しいプリンター

Point 1

Colorio V-editionは
印刷コスト面で優しい



エプソン Colorio V-edition
EP-10VA



L判のコスト比較

EP-10VA	約12.7円
EP-978A3	約20.6円
EP-4004	約21.7円

大幅に
おトク

作品作りの過程において、プリントすることで分かる粗や味があるので、何度かの試しプリントは避けられない。ここで気になるのは印刷のランニングコストだ。インクのコストは刷れば刷るほど重くのしかかってくる。こうした声に応えるためにエプソンが打ち出したのが、インクの価格を従来の約64%まで落とした「Colorio V-edition」シリーズだ。シリーズ第1弾は、EP-10VAだ。Colorio V-editionになったEP-10VAは、写真用紙(光沢) L判で約12.7円/枚という低ランニングコストを実現した。参考までに同じA3対応の6色機であるEP-978A3のランニングコストを挙げると、標準インクカートリッジでL判約26.5円/枚、大容量インクカートリッジを使用しても約20.6円/枚となっている。いかにEP-10VAのパフォーマンスが優れているかが分かってもらえるだろう。

Colorio V-editionは大量にプリントする人が長らく待ち望んでいたシリーズであり、気兼ねなく手軽にプリントを楽しめる。私自身が「写真の上達のためにとにかくプリントし、日時をかけてじっくりと眺めること」と教わってきたので、プリントのためのハードルが下がるのは喜ばしい。EP-10VAのように長く使えるだけの性能を備えた機体ならば、この方向性は大きい歓迎したい。

Point 2

PCがなくても写真編集が
できるから優しい



PCレスでも写真の編集ができるのは本機の魅力だ。液晶パネルは4.3型と大きく、Exif情報も同時に表示できたり、縦横比に応じて表示サイズを切り替えてくれたりと扱いやすい。色の調整に関しては、「色補正一覧印刷」機能を利用すればPCレスで簡単に行える。明るさやコントラスト、鮮やかさ、色調などを段階的に変更したインデックスプリントを目安にプリンターのパラメーターを調整するだけで、写真が自分好みの色合いで印刷できる。

モノクロの色調
詳細補正一覧

グリーンやマゼンタなどの色調の変化や明るさの変化の一覧を印刷できる



カラーの色編集一覧

明るさ、コントラスト、鮮やかさなどを変化させたい一覧を確認できる



Point 3

作品力がアップする
フチ機能がカンタンで優しい



PCレスで使用できる機能として面白いのは、プリントに「余白・余黒」を付ける機能である。フチを付けることで写真が引き締まるし、フチの純白または純黒との対比によって、写真の中に存在する階調の美しさも際立つため、フチの存在は大きい。EP-10VAには「フチ(白)」「フチ(黒) 枠付き」「フチ(黒) 枠付き」という4つのフチを、4種の太さから選択できる。



作品の印刷からフチをつけて印刷を選ぶだけで、フチ付き印刷ができる。パソコンでやるより簡単に付けられる



黒フチで写真を浮かび上がらせる

写真の周りに黒フチを付けると、写真がグッと引き締まり、さらに浮かび上がって見える効果がある



広めの白フチで作品に集中させる

なげない日常などは余白を多く取ることで、余韻が生まれ、作品力がアップする

色鮮やかで立体感のある カラープリントが魅力

新6色インクEpson ClearChrome K2だから
発色と再現力が違う

リスボンの市場で店頭に並んでいたバラ。淡い色から濃い色まで実に良く再現されている。奥に向かっていくポケケも自然で撮ったときに感動がよみがえってくる。EP-10VAは、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック

のレギュラーカラーに加えて、レッドとグレーを使用する。レッドインクにより暗めの赤や、高光度の黄、緑が色鮮やかに再現できる。グレーによる適切なカラーバランスと相まって、写真に立体感をもたらしてくれる。



EP-10VAは従来よりも発色性の高い新型の6色インクを搭載している。ヌケの良い、クリアな発色をする



バラの微妙なグラデーションも事に再現されている。カラーバランスが良く、色転びが少ないプリンターだと感じた



オリンパス XZ-10 / 4.7mm (26mm相当) / 絞り優先AE (F1.8, 1/25秒, +0.3EV) / ISO 100 / WB: オート

写真の迫力が大幅に アップするA3プリント



A4プリンターサイズで
A3までのプリントが可能

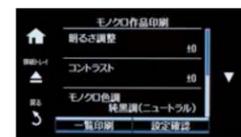
リトニアのバラガの棧橋。夕焼けに向かっていくような橋をダイナミックに表現したいと思ってA3でプリントした。EP-10VAはA4プリンターと思ほどの小さいボディでA3へのプリントも行える。A3プリントには興味があるけど、プリンターのボディサイズが……と敬遠していた人には強くオススメしたい。



オリンパス STYLUS 1 / 19.5mm (91mm相当) / 絞り優先AE (F5, 1/125秒, +0.7EV) / ISO 100 / WB: オート

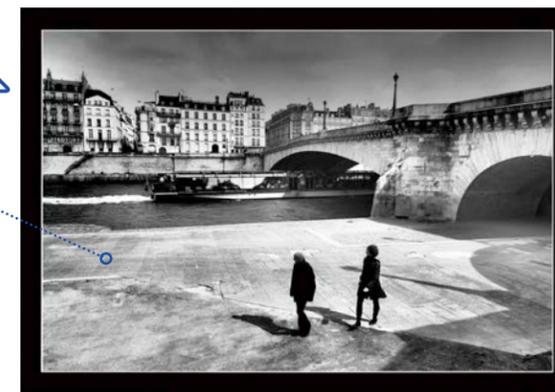
A4まではフロントレイで給紙するが、A3は背面トレイから給紙する。写真用紙なら連続で5枚まで対応している

グレーインクの追加で偏りの少ない 階調あふれるモノクロプリント



EP-10VAだけでも
モノクロプリントができる

パリのセーヌ川のほとりを歩く老夫婦。ブラックとグレーの2色の黒インクのおかげで暗部がつぶれることなく再現されている。実にリアリティーのあるモノクロプリントだ。EP-10VAで便利なのが本体だけでモノクロプリントができることだ。カラーの画像でも自動的に変換して美しいモノクロプリントが気軽に楽しめる。



オリンパス PEN E-P5 / M.ZUIKO DIGITAL ED 9-18mm F4.0-5.6 / 12mm (24mm相当) / 絞り優先AE (F6.3, 1/1,000秒, ±0EV) / ISO 200 / WB: オート

この1台であらゆる
用途に対応できる
万能プリンター



私はいつも写真はプリントして飾り一緒に暮らしてみようと思っている。これは飾った写真を見た家族や友人から意見をもらうことで、次の写真への意欲や課題が見えてくるからだ。EP-10VAはこの方法を実践するのに向いていると感じた。カードを挿入するだけですぐにプリントができる。本

体のサイズも小さいのでリビングにおいてもジャマにならない。スキャンもできるので家族が使うこともできる。家族も普段からEP-10VAに触ることで、プリントしてみようという意識も湧いてくる。作品プリントをこれからはじめたいと考えている人にオススメなプリンターだと感じた。